

---

## 1. 起業家に必要なもの

---

大阪商業大学 学長 谷岡 一郎

「起業家になるために必要な素養は何ですか？」と聞かれることがあります。そんな時、「そりゃあ、いろいろなケースで違うとは思いますが・・・」と前置きした上で多くの場合、次のように応えることにしています。「起業の中身を除くと、特に重要なのは次の3つの素養だと考えます。その3つとはつまり、『情報収集』、『決断する力』、そして『人間力』です」と。順に説明しておきましょう。

### 情報収集

まず情報収集ですが、特に昨今はフェイク・ニュースらしきものや、それに近いウソが蔓延っているようで、そんな世の中で起業するには、何が本当で何がウソかを見極める目が必要です。ネット環境の充実もあり、情報自体は誰にでもアクセス可能になりつつあります。ただし本当の情報であっても、使えるものと使えないものがありますから、その時空間において必要なものを見極め（仕分けをし）そして集め、逆にいらないものを切り捨てることも重要です。この切り捨てができない人は、情報の洪水に流されてしまう可能性が高いでしょう。むろん経験ある人々に「聞く」ことも、情報収集の大きな要素のひとつですが、まずは自分で考えるくせをつけましょう。慣れますと、質の高い情報とそうでないものが、すぐ判るようになるはずですよ。

### 決断する力

いろいろな情報を集め、仕分けをし、それらを総合的に判断したと仮定しましょう。あとは決断することだけですが、世の中にはその決断をできないタイプの人々がいます。そう、知識や思考内容は他人より優れていても決めることができないのです。「他人に聞くこと」は、情報収集段階では奨励されることですが、決断は起業家が下さなければなりません。逆に言えば、自分で決断できないなら重要な戦士レベルにはなれるにせよ、起業には向いていないのです。

日本人が遅れをとるとすれば、知識や情報やそれをもとにした思考ではなく、ましてや技術力や応用力でもなく、「最終的な大きな決断をする力」で

はないかと思われます。「まあ様子を見てからにしましょう・・・」などと言いつつ、実は決断したくない、あるいは決断できないリーダー格の者による、モラトリアムの沈滞を続けているだけかもしれません。会社が倒産する多くのプロセスが、この引き延ばしという名の決断力の欠如によるものであることは知っておいて下さい。

### 人間力

以上述べてきましたように、自分で考え、自分で決めることが起業家にとって重要な要素ではありますが、実はもっと重要な要素があります。それが人間力です。あなたは何らかの決断をしたとき、皆が付いてくるのか否か。あるいは失敗したときに周囲がそれを許し、次の決断をさせてくれるのか。それはあなたの持つ人間的魅力－カリスマとは少し違う－にかかっているのです。つまり相互に信頼し、信頼される仲間がいるのか、ということに近いかもしれません。

起業というものは、1回めで成功するとは限りません。むしろ最初の何回かは失敗する方が多いでしょう。しかしそれにへこたれず失敗から何かを学び、再挑戦をくり返す仲間がおれば、いつか大きな花が咲き実が成ることもあるでしょう。これが人間力が必要なゆえんです。下には厳しく上にはヘイコラするタイプ－（上ばかり見るので）「ヒラメ人間」と呼ばれています－には人はついて来ないものです。その反対はよろしい。

ここにこうして何年も続いている起業教育研究の報告書が新たに完成したこと、心よりお喜び申し上げます。内容も年々向上しているように感じます。いつも協力を惜しまない各高校の先生方、また編集や執筆に無償の労をとって下さった関係者の皆様に感謝申し上げます。